

(様式2)

平成 23 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570102010		
法人名	社会福祉法人 仁成福祉協会		
事業所名	グループホーム しんせい		
所在地	新潟市江南区曾川甲1333番地1		
自己評価作成日	平成23年11月21日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/Top.do">http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人新潟県社会福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階		
訪問調査日	平成24年1月13日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 特別養護老人ホーム にいがた新生園に併設しており、誕生会・納涼祭や看護職員の巡回などグループホームだけではできない事も実施しています。
2. 口腔ケアに力を入れ、誤嚥性肺炎の予防や毎日美味しく食事が出来るよう訪問歯科の先生の支援を受けています。
3. レクリエーション・クラブ・行事では様々なボランティアの方々の協力を得て、外部の人達と接点を持つ良い機会となっています。特に、向いの東曾野木小学校の生徒さん達が来て下さる時は、歌やゲームなどを披露していただき、利用者様も子ども達との交流を楽しまれています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームしんせい」は特別養護老人ホームに併設されたグループホームであり、各種の研修や行事の実施、緊急時の対応など、併設施設との協力・連携体制が確立している。周囲は田園地帯であり、住宅地から少し離れた場所にあるが、道路を挟んで向かいにある小学校と交流したり、小学校の隣にある消防署と連携して消防訓練を行うなどの取り組みを行っている。

特に、職員の資質向上のための内部研修には併設施設と合同で積極的に取り組んでいる。また、このサービス評価に対しても、前回評価時に取り組みを期待したいとされた事項について真摯に向き合い、改善に向けて取り組む姿勢・努力が伺えた。

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をそれぞれが再確認し実現に向けて努力している。	理念のもと、入居者のできること・できないことを担当職員が見極め、一人ひとりが役割をもって生きがいを感じて生活できるよう支援している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の交流会に参加したり、小学校との交流を行っている。又、自治会の方々から運営推進会議に参加して頂いている。	近隣地域の「いきいきサロン」へ出かけて参加したり、向かいにある小学生のボランティアを受け入れるなど、地域との交流に努めている。運営推進会議に出席している民生委員や自治会長を通じて、ホームの行事に地域住民から参加してもらえるよう働きかけている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	包括の主催する研修会に参加し、情報発信を行っている。	/	/
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、ホームでの現状報告を行っている。その内容は玄関に置き、来訪者に閲覧出来るようにしている。	運営推進会議では、ホームの運営やケアに関する細かいことも議題にあげて協議している。意見箱に入っていた内容も議題としたり、食事の調理方法やホーム内の環境整備についてアドバイスをもらうなど、会議内容を運営に活かしている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問に思う事は担当者に連絡し、アドバイスを頂いている。	地域包括支援センターの職員に運営推進会議へ参加してもらい情報交換したり、特に生活保護受給者の対応などでは行政担当者との積極的な協力体制を築き、取り組んでいる。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内研修や学習会に参加し、部会等でも意識付けるように取り組んでいる。	前回の外部評価以降、言葉によるものや職員の態度なども含めて何が拘束になるのか具体例を挙げて会議で話し合い、職員の理解を深めるよう取り組んだ。継続的に検討した結果、玄関の錠を日中開錠するようになった。	玄関を開錠するにあたり、家族へ運営推進会議の場や個別に説明しているが、理解が充分には得られていない。認知症への理解も含め丁寧に説明し理解を得られるよう継続的に取り組むことを望みたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修に参加する事で職員間で部会等でも話し合い意識し防止に努めている。	虐待に関する内部研修では、現場ですぐに生かせるよう具体例を挙げて説明するなど工夫している。皮膚に赤みが見られる等のちょっとしたことも事故報告書を作成して回覧し、全職員で情報を共有して虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を必要とされる方がいない為、特別な学習はしていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に納得、理解を頂いたうえで契約を行っている。解約、改定の際は十分に話し合いの場を作り説明している。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置。面会時等に本人からの不満や家族の方々のからの要望等を伺い、職員で検討し以後の対応に繋げている。	玄関に意見箱を設置するとともに、家族の面会時には、意見や要望等を直接お聞きできるよう働きかけている。利用者には日常の関わりの中でお聞きし、細かな要望も職員間で話し合っており、買い物や晩酌等の要望に応えている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務や部会等においてスタッフの意見や提案を出し合い検討し、運営に活かしている。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーション図ったり、個別面談を行うなど、職員が意見や要望を出しやすい環境作りをしている。内部での各種部会や併施設と合同の会議の場でも職員から意見や提案を出してもらい、運営に役立てている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	お互いの仕事についてサポートしたり、それぞれの問題点や悩みを聞き仕事内容を改善している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に対する研修を運営施設全体で行っている。又、施設内外の研修にも参加しスキルアップに繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会が行う研修に参加し交流を図っている。運営推進会議に近隣のグループホームに参加をして頂き交流を図っている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規受け入れ時には、自宅へ伺いご本人様の意向をゆっくりと聞きながら信頼関係を築いている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規受け入れ時には、自宅へ伺い状態等のお話を聞く時間を持ち面接を行っている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に状態確認の連絡を行い現状把握、ケアマネ等へ連絡し、「今」何が必要とされているのか相談検討を行っている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔行ってきた経験や体験等を伺い、日々の生活の中で教えて頂き役立てている。		
19	(7-2)	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事へのお知らせと参加への声掛けを行う。家族の方々とお話をする中で家族の状況も把握して行く、相談や報告は随時させて頂く。	家族へ、利用者の日頃の様子を文書で3ヶ月ごとに報告している。写真を添えたり、広報紙や行事案内も送付している。家族には外出に同行してもらったり行事に参加してもらうなど、本人と家族との関係が希薄にならないよう努めている。併設施設と合同で家族会を設けており、行事などを通して運営への協力も得ている。	
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られた時には、ゆっくり出来る場所の提供を行っている。	利用者の馴染みの場所へ買い物に出かけている。また、顔見知りの地域住民や友人が訪ねてきた際は日課をずらすなど、ゆっくり過ごせるよう配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係もできている。トラブル発生時以外でも見守りに努めている。各自の食席にも配慮を行っている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方でも、定期的ではなくとも利用者様と一緒に面会に訪れることもある。相談等あればその都度対応している。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から個人の希望や思いを聞き尊重に務めている。	主に居室担当者が中心となり、日常の関わりの中から利用者の思いや意向を聞き取ったり、表情や行動の変化などからニーズを把握しアセスメントへ反映して、ケアに活かすようにしている。	
24	(9-2)	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族からも今までの生活状況を聞き把握に努め役立てている。	入居前には事前調査表を活用して本人や家族からの情報把握に努め、入居後も家族の面会時や電話連絡などの際に情報収集を行い、日々のケアや介護計画に活かしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的な気付を話し合い共有し、記録に残し、日々の生活に反映している。利用者様各人一日のスケジュールを持っている人にはそれに添うように努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様家族の意向を参考に作成を行っている。内容についての確認は後日行い、定期的又は随時見直し、プランに反映させている。	利用者や家族の思いや意向、職員の気付きなどの情報をもとに介護計画を作成している。基本的に評価は3ヶ月ごとに行うこととしているが、介護度の変更や状態の変化に合わせて内容を随時更新し、現状に即したケアを提供している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌に記録、個別生活記録には時間を記入し、見やすい工夫を行っている。又、毎朝の申し送り時に情報の共有に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設であり様々なイベント等に参加させてもらっている。又、特養のホールを借りてグループホーム独自のイベントも行っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの小学校と交流あり、来所にて歌を唄ったり、ゲームをしたりして利用者様と楽しい時間を過ごしている。また文化祭や運動会など招待状が届き参加させて頂いている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所後グループホームの協力病院での受診を希望される方には職員対応で支援を行っている。又、以前からのかかりつけ医を継続されている方もあり、利用者様、家族の希望に添い行っている。	利用者や家族の要望を聞き、本人の状態も考慮してかかりつけ医を設定し、適切な医療が受けられるように支援している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	特養の看護師に朝・夕、状況報告にて共有。協力病院の看護師にも相談・助言を随時出来る体制となっている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携を図り、家族の相談にも常に対応をしている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については、家族の意向に添った支援を基本としているが、グループホームの状況も説明、理解して頂き、その都度書面等で相談させて頂いている。	入居契約時に重度化や終末期についての方針を説明し、退居基準についても書面も交付して説明している。利用者の状態に変化があった場合などに随時、本人や家族の意向を確認し、相談しながら対応している。	
34	(12-2)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	向かいの消防署職員より心肺蘇生法・AEDの講習会を年2回実施し参加している。応急手当については年間予定表に組み込み行っている。	近隣にある消防署から心肺蘇生やAEDの使用方法を含む救急対応について年2回指導を受けている。応急手当の訓練も年間予定に組み込まれており、全職員が実践できるようにしている。発熱時の対応訓練も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設特養との災害時対策あり、グループホーム独自でも日中・夜間を想定し行っている。(火災・地震時の避難訓練)	併設施設と合同で年2回の避難訓練を行っている他、夜間に緊急連絡網を使った通報訓練を実施している。	立地条件から地域との協力関係を構築するには至っていないが、地域の防災訓練に参加するなど、地域との連携に向けた取り組みを期待したい。
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に添った援助方法で対応。居室に入る時はノックし、利用者様の了解を得て入室している。	居室へ入る時には本人の了解を得る、排泄介助時のプライバシーへの配慮など利用者の尊厳を守る心がけだけでなく、利用者が不快に感じない身だしなみやマナーに関しても研修を行うなどの取り組みをしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の意思表示や選択が行い易いように声掛けを行い、選んでいただいている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴は午前中から行っており、利用者様に合ったペースで入浴して頂いている。散歩等希望される利用者様にはその都度付き添い支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度、美容師(ボランティア)が来園し、希望した髪型にしてもらっている。外出時等利用者様と相談し洋服を選んでいただいている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みを把握しメニューに反映している。食事の下ごしらえ等出来るところは手伝って頂き一緒に行っている。	利用者の希望に応じた対応を心がけ、外食や出前を取るなど柔軟に対応している。素材の固さや味に対する要望も苦情対応手順に則ってしっかりと検討したり、職員も一緒に食卓を囲むなど、食事を楽しむことができるよう支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の持病や状態に合ったメニューを提供している。食事量・水分量をそれぞれチェック表に記入し低下された方には補食等で多く摂って頂ける様に配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを習慣としている。自ら行えない方は職員が一緒に行っている。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様に応じた声掛けを小間めに行い、トイレに行かれた時は付き添いを行っている。排泄チェック表により管理している。	便秘薬などの薬に頼らず食事内容から見直しを図ったり、排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握して本人に合わせた誘導や介助を行い、個別に排泄の自立に向けて支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食に乳製品やバナナを提供したり、水分補給を重視している。又、朝食後にラジオ体操を行い体を動かしている。利用者様の希望に応じ歩行訓練を取り入れている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の習慣や希望に合わせて入浴している。又、ゆっくりと時間が取れるように配慮し、状況により清拭、更衣も実施している。	朝からお風呂を沸かして利用者が好きな時にいつでも入浴できるようにしたり、変わり湯などで入浴を楽しめるよう工夫している。夜間入浴の試みも行っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間はあるが、利用者様の希望によってはテレビを見て頂く時もある。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬の内容を個人別受診ファイルで管理し、いつでも確認する事ができる。頓服薬についても朝夕の申し送り時に伝え、介護日誌にも記録している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の好みでいつでもお茶・コーヒー等飲んで頂いている。歌の好きな方にはビデオ・DVDを流し楽しんで頂いている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買物・散歩・ドライブ等日常的に外出している。花見・足湯ツアー・花火見学等に出掛けた。利用者様の希望を伺い、外食に出掛けた。</p>	<p>利用者の希望に応じて市場やスーパーへの買い物、外食、カラオケボックス、お茶を飲みに出かけるなど柔軟に対応している。周辺地域への散歩など日常的な支援も行われている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人所持は行っていない。家族の了解にてホームで管理し、日常必要な物・利用者様の欲しい物はその中から購入させて頂いている。3ヶ月毎にレシートをつけて預かり金報告を行っている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者様の希望があればいつでも電話をかけたり手紙を書いたり支援は行っている。</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングから眺められるように外には花や木を植え季節を感じられるようにしている。季節に合った小物等で飾り付けを行っている。一緒に飾り付けを行う事で季節感を感じて頂いている。</p>	<p>建物の内装に木材をふんだんに使用し、ぬくもりのある空間となっている。共有空間には、窓の外の特園風景と合うよう季節に応じた飾りつけが施され、季節感を感じることができる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファを置き利用者様の所定の場所やお気に入りの場所がある。又、ホームの東西にソファを配置し利用者様の談話の場となっている。</p>		
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>以前より使用されている家具等慣れ親しんでいる物を持ち込んで頂き、落ち着いて生活出来るようにして頂いている。</p>	<p>自宅から馴染みのある家具や身の回りの生活用品を持ち込んでもらったり、ホームで生活してからの行事の写真や趣味活動へ参加しての作品などを飾り、利用者ごとにその人らしい居室づくりがなされている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様の意欲を踏まえた中での支援を心がけている。各居室の入り口には大きく名前を掲示し分かり易いようにしている。トイレや浴室も分かりやすい言葉で工夫している。</p>		

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		